
葉山町公共施設等総合管理計画 第二次実施計画

〔 葉山町公共施設個別施設計画 〕

令和7年3月策定

令和8年4月改訂

神奈川県葉山町



目次

序章 個別施設計画について	1
1 計画策定の背景	1
2 計画の目的	1
3 計画期間	2
4 主な関連計画	2
第1章 公共施設を取り巻く現状と課題	3
1 対象施設	3
2 施設の配置状況	4
3 人口の変化	5
第2章 公共施設の評価方法	6
1 概要	6
2 建物評価	7
3 FM会議等による検討結果	14
第3章 公共施設の状況と方向性	15
1 行政系施設	15
2 社会教育系施設	17
3 集会施設	19
4 保健・福祉施設	21
5 子育て支援施設	23
6 都市公園内施設	25
7 その他施設	27
第4章 公共施設整備の基本的な方針と整備水準	29
1 改修等の基本的な方針	29
2 改修周期のイメージ	29
3 改修等の整備水準	30
第5章 実施計画	31
1 実施計画	31
第6章 個別施設計画の継続的運用	32

1	維持管理の項目・手法等.....	32
2	情報基盤の整備と活用	33
3	推進体制等の整備	33
4	フォローアップ	33

【葉山町公共施設個別施設計画の記載にあたっての前提】

① 端数処理について

本計画では、記載のある数値未満を四捨五入し、端数処理しています。このため、各数値の合計が表記される合計欄の数値と一致しない場合があります。

② 調査時点と年度表記について

本計画に掲載する数値は、令和5年度（令和6年3月31日時点）を基本としています。それ以外の時点の情報を利用する場合は、その旨を注記しています。

③ %（パーセント）表記について

「%（パーセント）」表記は小数第2位を四捨五入しているため、合計値が「100%」にならない場合があります。

序章 個別施設計画について

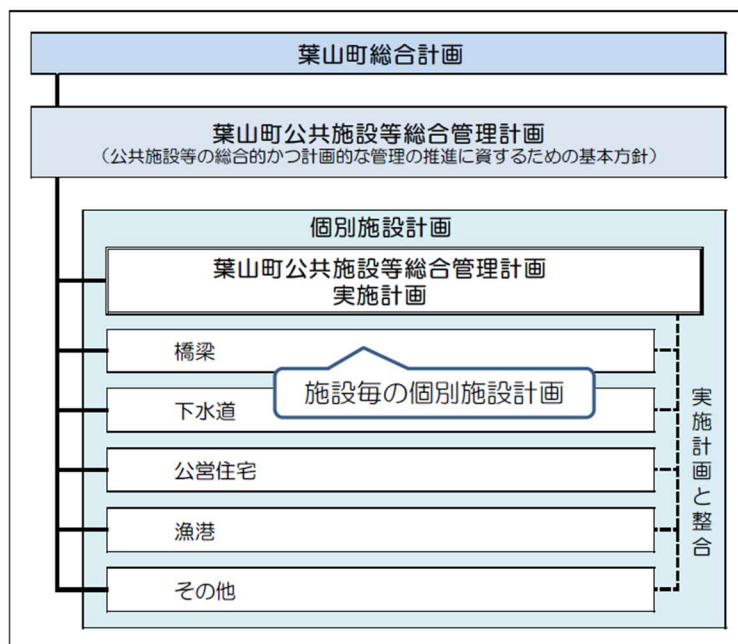
1 計画策定の背景

公共施設等の老朽化が進行し、全国的に公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっており、葉山町（以下、「本町」という。）の公共施設等についても同様の課題を抱えています。国においては、インフラの戦略的な維持管理・更新等を推進するため、平成 25（2013）年に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、さらに、平成 26（2014）年に公共施設やインフラの総合的かつ計画的な管理を行うため、「公共施設等総合管理計画」の策定を要請しました。

これを受け、本町では平成 29（2017）年 3 月に「葉山町公共施設等総合管理計画（以下、総合管理計画という。）」を策定し、その後、令和 4（2022）年 4 月に総務省より「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針改定等について」が示されたことを受け、「葉山町公共施設等総合管理計画（追補版）」を策定しています。

葉山町公共施設個別施設計画（以下、「本計画」という。）では、総合管理計画に基づき、個別施設ごとの具体の対応方針を定めることが求められています。

公共施設等総合管理計画実施計画の位置づけ



2 計画の目的

上記の背景を踏まえ、基本方針である総合管理計画に基づき、公共施設等の総量・機能の最適な配置を実現するため、施設ごとの更新・統廃合等と併せて維持保全を計画的に行う具体的な実施計画として、平成 30（2018）年 3 月に「葉山町公共施設等総合管理計画第一次実施計画（2018 年度～2024 年度）（以下、第一次実施計画という。）」を策定・行動してまいりました。本計画は「葉山町公共施設等総合管理計画第二次実施計画（2025 年度～2032 年度）」として次期 8 年間の具体的な行動を示すことを目的としています。

3 計画期間

本計画の計画期間は令和7（2025）年度から令和14（2032）年度までの8年間とします。

葉山町公共施設等総合管理計画 平成29(2017)年度～令和30(2048)年度 32年間			
第一次実施計画 平成30(2018)年度 ～令和6(2024)年度 7年間	第二次実施計画 令和7(2025)年度 ～令和14(2032)年度 8年間	第三次実施計画 令和15(2033)年度 ～令和22(2040)年度 8年間	第四次実施計画 令和23(2041)年度 ～令和30(2048)年度 8年間

4 主な関連計画

本計画に関連する本町の計画は、主に次の計画があります。

【主な関連計画】

関連計画	関連する記載内容
葉山町総合計画	まちづくりの指針となる最上位計画。中長期的な視点で、「まちの将来像」「これを実現するためのまちづくりの基本目標や取り組みの方向性」を示す計画。
葉山町 公共施設等総合管理計画	公共施設等の総合的・計画的な管理を推進するための指針。公共建築物やインフラ施設にかかる個別施設計画の上位計画。

第1章 公共施設を取り巻く現状と課題

1 対象施設

本書で対象とする公共施設は、令和6年3月31日時点において、37施設あり、延床面積の合計は約23,703㎡です。

表 1-1 対象とする公共施設の一覧

大分類	中分類	小分類	施設数	延床面積(㎡)
行政系施設	庁舎等	庁舎	2	6,456.96
		消防庁舎	1	2,524.49
	消防施設	消防団詰所	6	740.08
社会教育系施設	図書館	図書館	1	2,034.48
	博物館等	博物館	1	844.15
集会施設	集会施設	集会所	10	2,473.99
		町民いこいの家	2	329.69
保健・福祉施設	保健・福祉施設	保健・福祉施設	2	4,239.24
子育て支援施設	幼保・こども園	保育園	1	842.78
		児童館	6	1,957.39
	その他施設	その他施設	2	565.77
都市公園内施設	都市公園内施設	都市公園内施設	2	315.82
その他施設	その他施設	その他施設	1	378.52
計			37	23,703.36

本町の公共施設のうち、公衆用トイレ、防災倉庫、バス停等のその他の公共施設は本計画の対象外としています。

なお、「町営住宅」については、平成28(2016)年に国土交通省から示されました「公営住宅等長寿命化計画 策定指針(改定)」に基づき、「葉山町 町営住宅長寿命化計画」を策定しました。

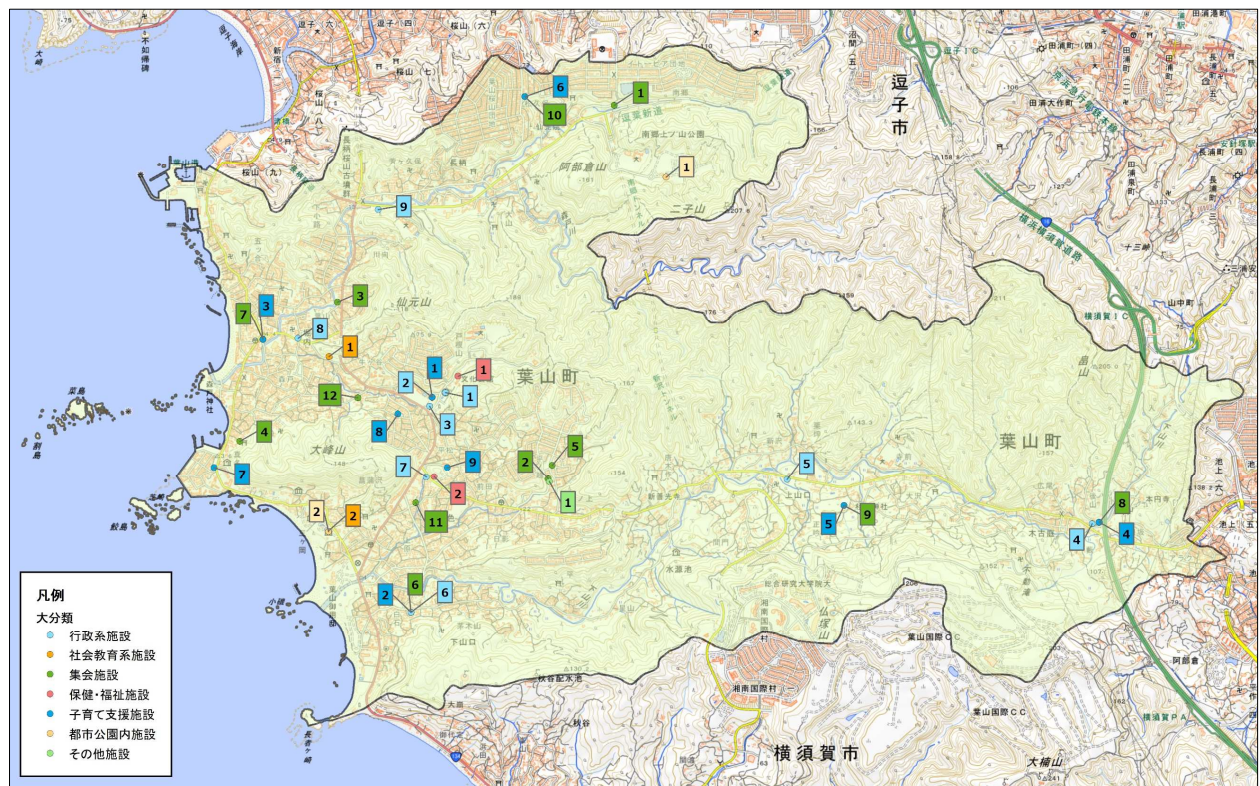
また、「学校施設」の整備の方向性については、「学校整備基本構想・基本計画」にてお示しします。

2 施設の配置状況

本町は、東京都心から約 50 km、横浜市の中心部から約 20 km、首都圏の一角に位置する面積 17.04 km²の町です。相模湾越しに富士山や伊豆半島を望む三浦半島西北部の丘陵地域で、北は逗子市に、南及び東は横須賀市に接し、相模湾沿岸の西部や逗子市方面の北部を中心に市街地が広がっており、東部は山林が多くなっています。

横須賀線開通を機に、皇族や各界名士の別荘が相次いで建築されるとともに、明治 27 (1894) 年には御用邸の造営が行われ、首都圏の保養地として発展しました。1970 年代から丘陵地が開発されてベッドタウン化が進みましたが、1980 年代以降は無秩序な開発の抑制を図ってきたことから、2000 年代に入っても、町民の高い意識と協力のもと優れた住環境や景観が形成されています。

図 1-1 本町の施設配置状況¹



No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
行政系施設		1	図書館	9	上山口会館	4	木古庭児童館
1	葉山町役場庁舎	2	葉山しおさい博物館	10	葉桜会館	5	上山口児童館
2	教育総合センター	集会施設		11	一色町民いこいの家	6	葉桜児童館
3	葉山町消防庁舎	1	イトーピア会館	12	堀内町民いこいの家	7	芝崎児童館
4	第1分団詰所	2	一色岡会館	保健・福祉施設		8	青少年会館
5	第2分団詰所	3	木の下会館	1	福祉文化会館	9	子育て支援センター(ぼけっと)
6	第3分団詰所	4	真名瀬会館	2	保健センター	都市公園内施設	
7	第4分団詰所	5	一色第2岡会館	子育て支援施設		1	南郷上ノ山公園管理事務所
8	第5分団詰所	6	下山口会館	1	葉山保育園	2	葉山しおさい公園管理事務所
9	第6分団詰所	7	元町会館	2	下山口児童館	その他施設	
社会教育系施設		8	木古庭会館	3	元町児童館	1	旧葉山はばたき

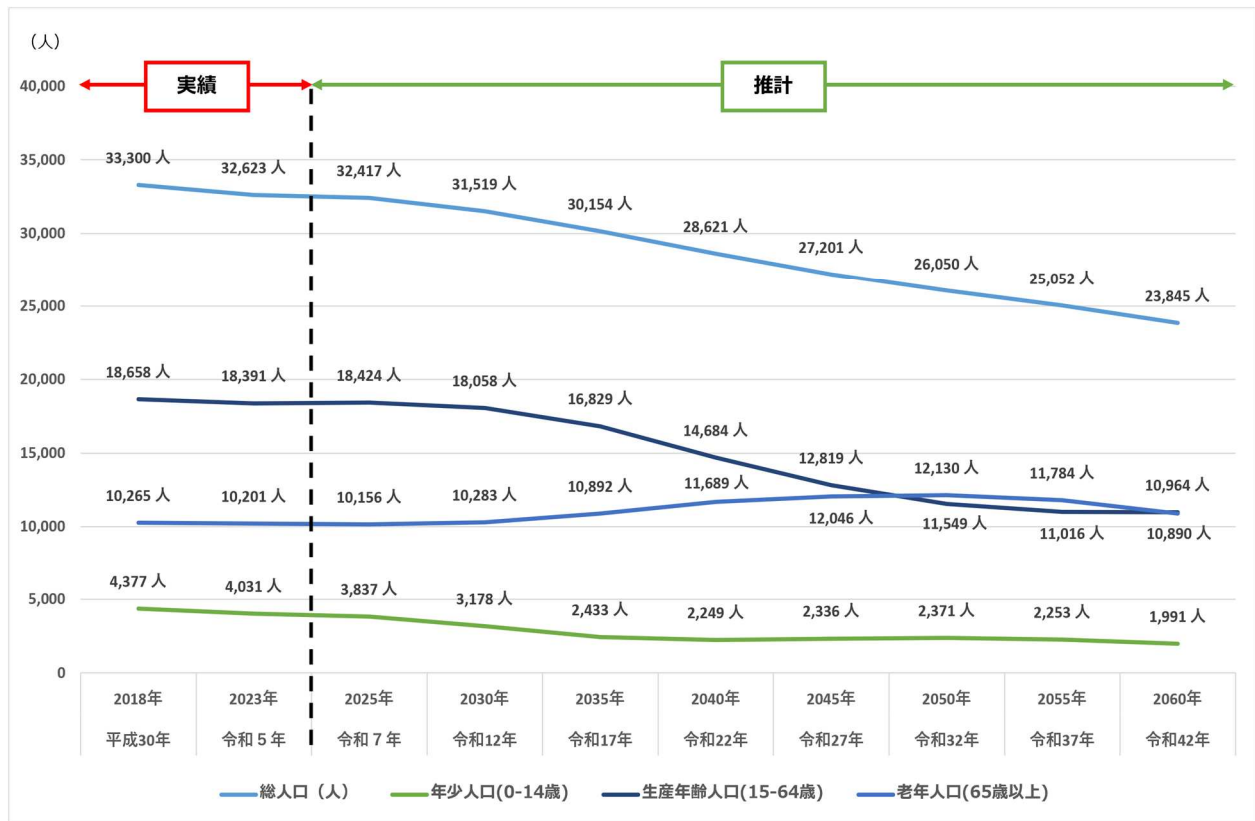
¹ 国土地理院地図を加工して作成

3 人口の変化

(1) 本町の人口及び年代別人口の見通し

本町の人口は令和5(2023)年に32,623人となり、令和7(2025)年の32,417人から10年後の令和17(2035)年には30,154人に、25年後の令和32(2050)年には26,050人まで減少する見込みです。

図 1-2 本町の人口推移と将来推計²



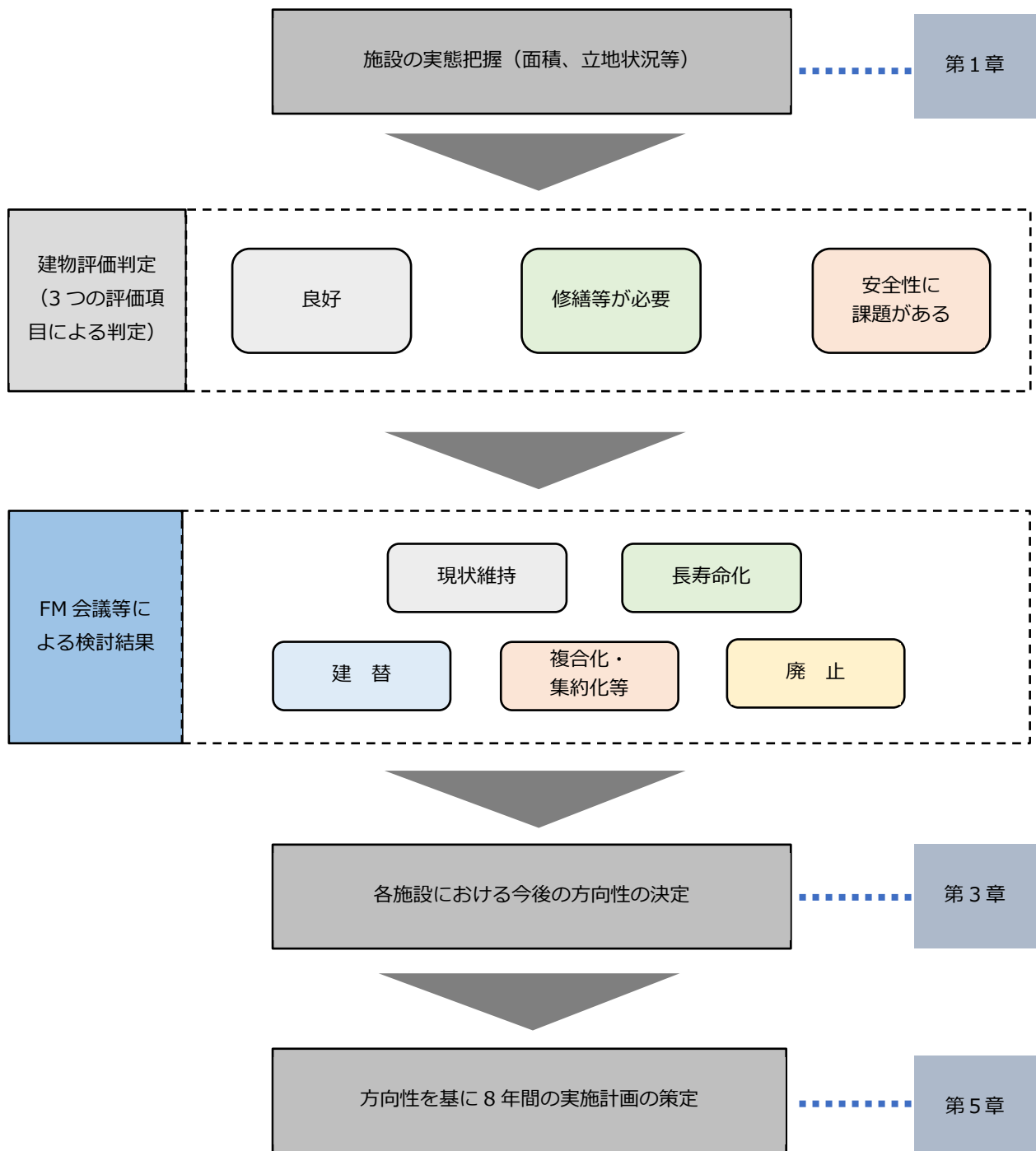
² 第5次葉山町総合計画「葉山町人口推計プログラム推計人口(住基ベース)」を基に作成

第2章 公共施設の評価方法

1 概要

限りある財源を踏まえた公共施設の整備方針を定めるには、各施設の状況を把握し、今後の方向性を検討する必要があります。劣化診断調査により、施設のハード面の建物評価を行ったうえで、FM会議等による検討結果を踏まえ、第3章では各施設における今後の方向性を定め、第5章では8年間の実施計画をお示ししています。

図 2-1 各施設における今後の方向性を定めるまでのフロー



序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

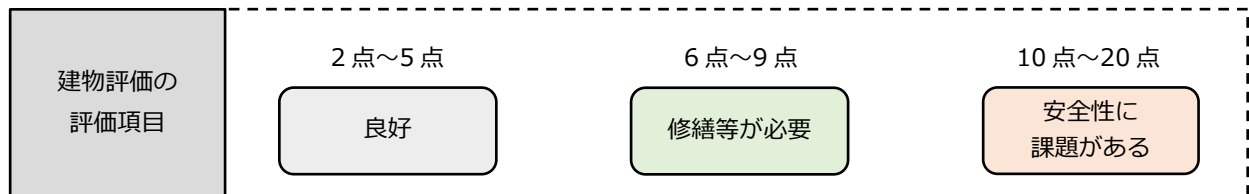
2 建物評価

(1) 建物評価の概要

公共施設の整備方針を定めるうえで、当該施設が今後も継続的に利用することが可能であるかを評価する必要があります。次の3つの項目により施設のハード面の状態を評価しました。

図 2-2 建物評価の点数一覧

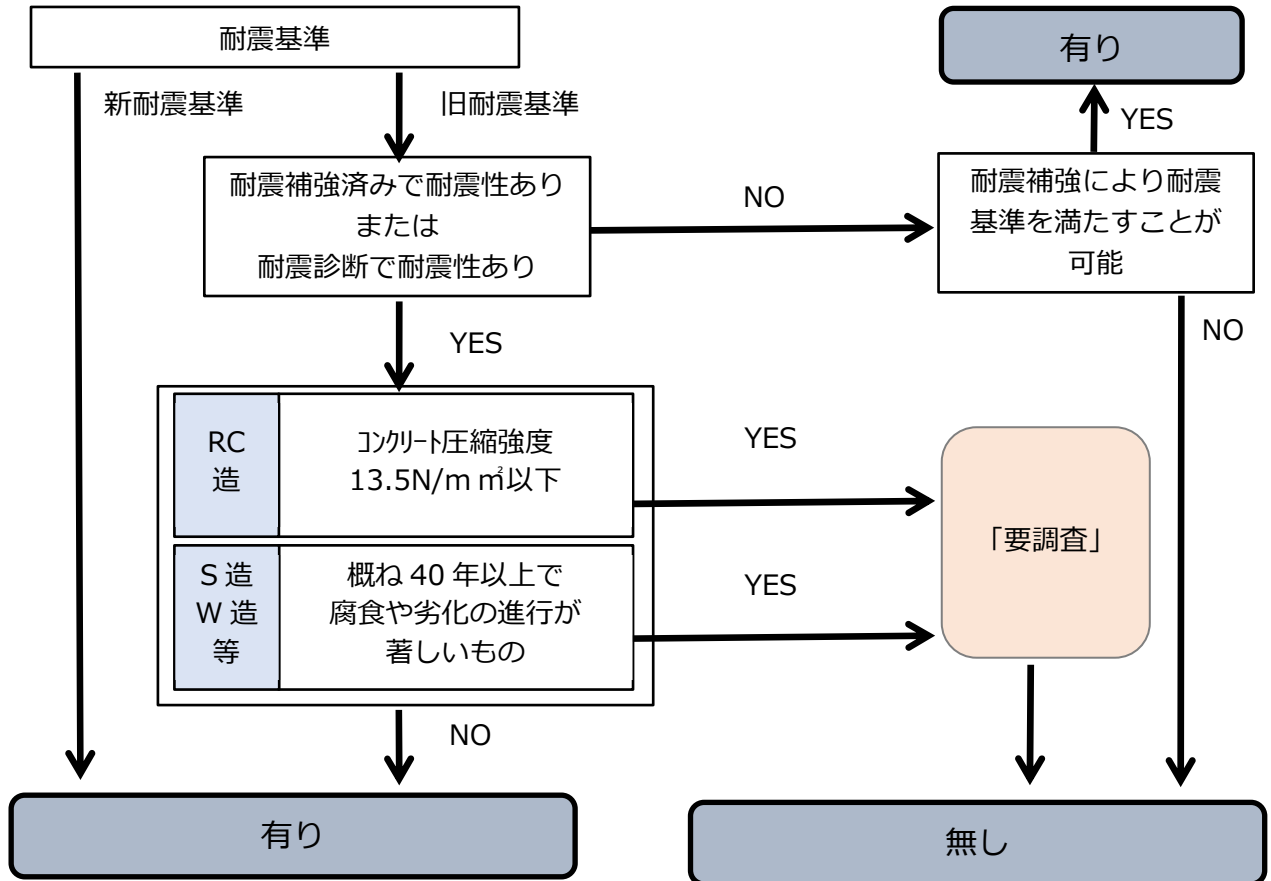
評価項目	基準・配点					評価点 (最大)
①耐震性の有無	当該施設の耐震性が、					10点
	有り		無し			
	0点		10点			
②老朽化状況 (経過年数)	経過年数÷目標使用年数=老朽化状況(%)が、					5点
	~20%	21%~ 50%	51%~ 75%	76%~ 89%	90%~	
	1点	2点	3点	4点	5点	
③劣化度	劣化度の評価結果が、					5点
	A	B	C	D	E	
	1点	2点	3点	4点	5点	
合 計					20点	



(2-①) 耐震性の有無

耐震性の有無は各施設における耐震基準や診断結果を基に、次の健全性判定フローを用いて「有り」・「無し」の判定を行いました。

図 2-3 健全性判定フロー



■ 耐震性の有無の確認結果

本計画における対象施設については、全て耐震性「有り」の判定となりました。

(2-2) 老朽化状況(経過年数)

■ 目標使用年数の設定

本計画の対象とする施設の目標使用年数を次のとおり設定します。

表 2-1 構造別の目標使用年数

建築物の構造		建築物の耐久計画における目標耐用年数 ³	目標使用年数
鉄筋鉄骨コンクリート造・ 鉄筋コンクリート造	高品質	80～120年	80年
	普通品質	50～80年	
鉄骨造	重量鉄骨	高品質	80年
		普通品質	
	軽量鉄骨	30～50年	40年
ブロック造・れんが造		50～80年	60年
木造		50～80年	60年

【老朽化状況の算定方法】

- ・各施設における現在の経過年数を目標使用年数で除することで評価を行います。
- ・割合が高いものほど、劣化状況が進行している可能性が高くなります。

(各施設の) 経過年数 ÷ 目標使用年数 = 老朽化状況 (%)

³ 『建築物の耐久計画に関する考え方』(日本建築学会)(1988)における表 2.2.1 ならびに表 2.2.2 を参考に設定

■老朽化状況の一覧

各施設の老朽化状況は次のとおりです。

表 2-2 老朽化状況の一覧⁴

No.	施設名称	棟名称	構造	建築年度	経過年数	目標使用年数	老朽化状況
行政系施設							
1	葉山町役場庁舎	葉山町役場庁舎	RC	1984	39	80	49%
2	教育総合センター	2階 葉山町教育委員会 旧教育研究所 3階 たんぼぼ教室 ことば・きこえの教室	RC	2006	17	80	21%
3	葉山町消防庁舎	葉山町消防庁舎	RC	1996	27	80	34%
4	第1分団詰所	第1分団詰所	S	1990	33	80	41%
5	第2分団詰所	第2分団詰所	S	1998	25	80	31%
6	第3分団詰所	第3分団詰所	S	1997	26	80	33%
7	第4分団詰所	第4分団詰所	S	2000	23	80	29%
8	第5分団詰所	第5分団詰所	S	2002	21	80	26%
9	第6分団詰所	第6分団詰所	S	2016	7	80	9%
社会教育系施設							
1	図書館	図書館	RC	1980	43	80	54%
2	葉山しおさい博物館	しおさい博物館	RC	1986	37	80	46%
		しおさい博物館 増築棟	RC	1998	25	80	31%
集会施設							
1	イトーピア会館	イトーピア会館	W	1978	45	60	75%
		イトーピア会館 増築棟	W	1990	33	60	55%
2	一色岡会館	一色岡会館	W	1985	38	60	63%
3	木の下会館	木の下会館	W	1988	35	60	58%
4	真名瀬会館	真名瀬会館	RC	1990	33	80	41%
5	一色第2岡会館	一色第2岡会館	W	1992	31	60	52%
6	下山口会館	下山口会館	S	1997	26	80	33%
7	元町会館	元町会館	S	1988	35	80	44%
8	木古庭会館	木古庭会館	RC	1990	33	80	41%
9	上山口会館	上山口会館	RC	1994	29	80	36%
10	葉桜会館	葉桜会館	S	2000	23	80	29%
11	一色町民いこいの家	一色町民いこいの家	W	1965	58	60	97%
12	堀内町民いこいの家	堀内町民いこいの家	W	1963	60	60	100%
保健・福祉施設							
1	福祉文化会館	福祉文化会館	RC	1988	35	80	44%
		福祉文化会館 増築棟 A棟	RC	1991	32	80	40%
		福祉文化会館 増築棟 B棟	RC	1991	32	80	40%
2	保健センター	保健センター	RC	1987	36	80	45%
子育て支援施設							
1	葉山保育園	葉山保育園（教育総合センター1階）	RC	2006	17	80	21%
2	下山口児童館	下山口児童館	S	1997	26	80	33%
3	元町児童館	元町児童館	S	1988	35	80	44%
4	木古庭児童館	木古庭児童館	RC	1990	33	80	41%
5	上山口児童館	上山口児童館	RC	1994	29	80	36%
6	葉桜児童館	葉桜児童館	S	2000	23	80	29%
7	芝崎児童館	芝崎児童館	RC	1997	26	80	33%
8	青少年会館	青少年会館	W	2012	11	60	18%
9	子育て支援センター（ぼけっと）	子育て支援センター（ぼけっと）	RC	1972	51	80	64%
都市公園内施設							
1	南郷上ノ山公園管理事務所	南郷上ノ山公園管理事務所	RC	1984	39	80	49%
2	葉山しおさい公園管理事務所	葉山しおさい公園管理事務所	W	1986	37	60	62%
その他施設							
1	旧葉山はばたき	旧葉山はばたき	S	1988	35	80	44%

⁴ 構造に記載している RC は鉄筋コンクリート造、S は鉄骨造、W は木造のことを指す

(2-③) 劣化度

施設を継続利用していくためには劣化している箇所に対し適切に修繕を行う必要があります。令和元（2019）年度に実施した劣化診断調査等を基に各施設の建築部位及び設備別に調査を実施しました。

評価にあたっては、前述の調査の結果やこれまでの修繕状況を踏まえ、各評価を点数化し、劣化度として算定しています。

【劣化度の算定方法】


- ・各部位の劣化状況評価結果を、評価別の点数に置き換えます。劣化状況が悪いものほど点数が高くなります。
- ・部位の劣化が施設全体へ影響を与えるものほど重視するため、部位ごとに劣化点数を設定しています。

表 2-3 劣化状況評価結果と点数

部位 評価結果	屋根	外部	内部	電気 設備	機械 設備
概ね良好	0	0	0	0	0
部分的に劣化	5	3	1	3	4
広範囲に劣化	12	7	3	7	8
早急に対応が必要	16	10	4	10	12

- ・各部位の劣化点数の合計により劣化度を A～E で評価します。

表 2-4 劣化点数と劣化度

劣化点数合計	～10点	11点～ 20点	21点～ 30点	31点～ 34点	35点～
劣化度	A	B	C	D	E
劣化状況	良い				悪い

【部位別の内訳】

・各部位に属する内訳は次のとおりです。

部位	内訳	部位	内訳
屋根	屋根防水	電気設備	通信・情報(防災)
	笠木		電力
	ドレーン、樋		避雷・屋外
	屋根スルト・かわら類等		受変電
外部	外装仕上げ材等		発電・静止形電源
	カーテンウォール		中央監視
	外部天井		空調
	外部雑		換気
	外部開口部	排煙	
内部	床仕上げ材	機械設備	自動制御
	内壁仕上げ材		給排水衛生
	天井仕上げ材		消火
	内部開口部		ガス
	内部雑		昇降機その他
	避難経路、階段等		

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

■劣化度の一覧

各施設の劣化度は次のとおりです。

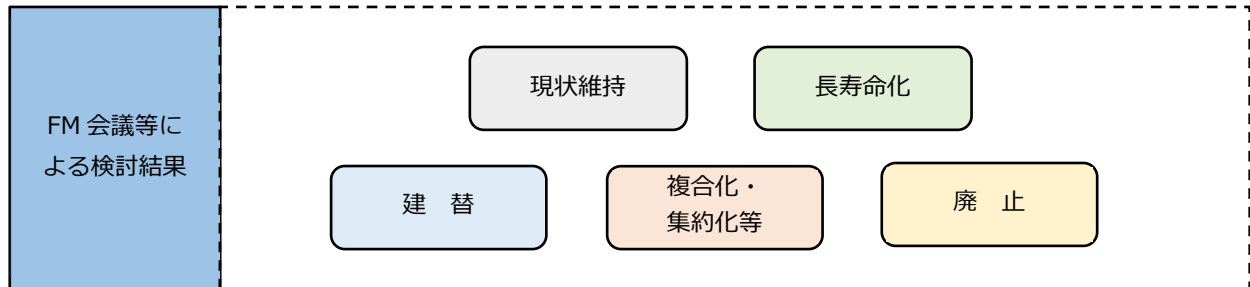
表 2-5 劣化度の一覧

No.	施設名称	棟名称	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	合計	劣化度
行政系施設									
1	葉山町役場庁舎	葉山町役場庁舎	12	3	1	3	8	27	C
2	教育総合センター	2階 葉山町教育委員会 旧教育研究所 3階 たんぼぼ教室 ことば・きこえの教室	5	3	3	3	8	22	C
3	葉山町消防庁舎	葉山町消防庁舎	5	3	1	3	4	16	B
4	第1分団詰所	第1分団詰所	5	3	1	3	4	16	B
5	第2分団詰所	第2分団詰所	5	3	1	3	4	16	B
6	第3分団詰所	第3分団詰所	0	7	1	3	8	19	B
7	第4分団詰所	第4分団詰所	5	3	1	3	4	16	B
8	第5分団詰所	第5分団詰所	5	3	1	3	4	16	B
9	第6分団詰所	第6分団詰所	0	0	0	0	0	0	A
社会教育系施設									
1	図書館	図書館	12	3	4	7	8	34	D
2	葉山しおさい博物館	しおさい博物館 しおさい博物館 増築棟	5	3	1	3	4	16	B
集会施設									
1	イトーピア会館	イトーピア会館 イトーピア会館 増築棟	5	7	4	7	8	31	D
2	一色岡会館	一色岡会館	5	7	1	3	8	24	C
3	木の下会館	木の下会館	5	7	3	7	4	26	C
4	真名瀬会館	真名瀬会館	5	3	3	3	4	18	B
5	一色第2岡会館	一色第2岡会館	5	3	1	3	4	16	B
6	下山口会館	下山口会館	0	7	1	3	8	19	B
7	元町会館	元町会館	12	7	3	3	0	25	C
8	木古庭会館	木古庭会館	5	7	1	7	8	28	C
9	上山口会館	上山口会館	5	7	1	3	4	20	B
10	葉桜会館	葉桜会館	0	3	1	0	8	12	B
11	一色町民いこいの家	一色町民いこいの家	12	7	4	7	8	38	E
12	堀内町民いこいの家	堀内町民いこいの家	12	7	3	7	8	37	E
保健・福祉施設									
1	福祉文化会館	福祉文化会館 福祉文化会館 増築棟 A棟 福祉文化会館 増築棟 B棟	12	10	1	3	8	34	D
2	保健センター	保健センター	0	3	1	3	0	7	A
子育て支援施設									
1	葉山保育園	葉山保育園（教育総合センター1階）	5	3	1	3	4	16	B
2	下山口児童館	下山口児童館	0	7	1	3	8	19	B
3	元町児童館	元町児童館	12	7	3	3	0	25	C
4	木古庭児童館	木古庭児童館	5	3	1	3	4	16	B
5	上山口児童館	上山口児童館	5	3	1	3	4	16	B
6	葉桜児童館	葉桜児童館	0	3	1	0	8	12	B
7	芝崎児童館	芝崎児童館	5	3	3	3	4	18	B
8	青少年会館	青少年会館	0	0	0	0	0	0	A
9	子育て支援センター（ぼけっと）	子育て支援センター（ぼけっと）	12	10	3	7	8	40	E
都市公園内施設									
1	南郷上ノ山公園管理事務所	南郷上ノ山公園管理事務所	5	3	1	3	4	16	B
2	葉山しおさい公園管理事務所	葉山しおさい公園管理事務所	5	3	1	3	4	16	B
その他施設									
1	旧葉山はばたき	旧葉山はばたき	5	3	1	3	4	16	B

3 FM会議等による検討結果

(1) FM会議等による検討結果の概要

各施設における今後の方向性を定めるには、建物評価に加え、施設の必要性を評価することが必要です。FM会議等による議論では、施設の全体の配置バランスや施設の利用目的等を含めた包括的な検討を行い、施設の方向性を検討しました。主な施設の方向性は次の図のとおりです。



第3章 公共施設の状況と方向性

1 行政系施設

(1) 施設の概要

行政系施設は全9施設あり、延床面積の合計は9,721.53㎡となります。行政系施設は、政府や自治体が運営する施設であり、公共サービスの提供、行政手続きの実施、社会福祉の支援、公共施設の維持管理、災害対応等の役割を果たしています。これらの施設は、社会全体の福祉や安定に貢献し、町民が安全で快適な環境で生活できるよう支援しています。



(写真は葉山町役場)

表 3-1-1 行政系施設の基本情報

No.	施設名称	棟名称	構造	建築年度	経過年数	耐震基準	延床面積(㎡)
1	葉山町役場庁舎	葉山町役場庁舎	RC	1984	39	新	5,021.84
2	教育総合センター	2階 葉山町教育委員会 旧教育研究所 3階 たんぼぼ教室 ことば・きこえの教室	RC	2006	17	新	1,435.12
3	葉山町消防庁舎	葉山町消防庁舎	RC	1996	27	新	2,524.49
4	第1分団詰所	第1分団詰所	S	1990	33	新	177.49
5	第2分団詰所	第2分団詰所	S	1998	25	新	117.75
6	第3分団詰所	第3分団詰所	S	1997	26	新	85.05
7	第4分団詰所	第4分団詰所	S	2000	23	新	123.41
8	第5分団詰所	第5分団詰所	S	2002	21	新	113.96
9	第6分団詰所	第6分団詰所	S	2016	7	新	122.42
						合計	9,721.53

(2) 行政系施設の状況と評価

行政系施設は、多くの施設が1990年代以降に建築され、全てが新耐震基準に従った設計であるため、耐震性は「有り」となります。築後20～30年の施設が多いため、老朽化状況については、一部の施設を除き、20～30%の範囲内に収まります。また、現地における劣化診断調査の結果により、経過年数通りの部位の劣化は見受けられるものの、建物評価としては「良好」な状態です。ただし、葉山町役場は建築後およそ40年経過していることもあり、防水シートの破損、外壁の劣化、給排水設備や空調設備の老朽化等が確認されているため、早急な対応が必要です。

表 3-2-1 行政系施設の評価

No.	施設名称	棟名称	建物評価項目			建物評価 (点数)	建物評価	FM会議等による 検討結果
			耐震性	老朽化状況 (経過年数)	劣化度			
1	葉山町役場庁舎	葉山町役場庁舎	有り	49%	C	5	良好	長寿命化
2	教育総合センター	2階 葉山町教育委員会 旧教育研究所 3階 たんぼぼ教室 ことば・きこえの教室	有り	21%	C	5	良好	長寿命化
3	葉山町消防庁舎	葉山町消防庁舎	有り	34%	B	4	良好	長寿命化
4	第1分団詰所	第1分団詰所	有り	41%	B	4	良好	現状維持
5	第2分団詰所	第2分団詰所	有り	31%	B	4	良好	現状維持
6	第3分団詰所	第3分団詰所	有り	33%	B	4	良好	現状維持
7	第4分団詰所	第4分団詰所	有り	29%	B	4	良好	現状維持
8	第5分団詰所	第5分団詰所	有り	26%	B	4	良好	現状維持
9	第6分団詰所	第6分団詰所	有り	9%	A	2	良好	現状維持

(3) 今後の方向性

表 3-3-1 行政系施設の方向性

No.	施設名称	今後の方向性	備考
1	葉山町役場庁舎	「長寿命化」	令和6年度に太陽光パネル設置工事、令和7年度から令和8年度にかけて空調設備の改修を行います。 その他にも老朽化が進んでいる部位に関しては、計画的な修繕・改修を実施し、施設の長寿命化を図ります。
2	教育総合センター	「長寿命化」	令和7年度に太陽光パネル設置工事を行います。その他の部位については、必要に応じて修繕・改修を実施し、施設の長寿命化を図ります。
3	葉山町消防庁舎	「長寿命化」	必要に応じて修繕・改修を実施し、施設の長寿命化を図ります。
4	第1分団詰所	「現状維持」	老朽化により業務の継続に支障がある場合は、修繕を実施します。
5	第2分団詰所		
6	第3分団詰所		
7	第4分団詰所		
8	第5分団詰所		
9	第6分団詰所		

2 社会教育系施設

(1) 施設の概要

社会教育系施設は全2施設あり、延床面積の合計は2,878.63㎡となります。地域住民が自由に学び、交流し、自己啓発を行うための拠点として、社会の中で教育・学習を促進する重要な役割を果たしています。



(写真は葉山町立図書館)

表 3-1-2 社会教育系施設の基本情報

No.	施設名称	棟名称	構造	建築年度	経過年数	耐震基準	延床面積(㎡)
1	図書館	図書館	RC	1980	43	旧	2,034.48
2	葉山しおさい博物館	しおさい博物館	RC	1986	37	新	789.06
		しおさい博物館 増築棟	RC	1998	25	新	55.09
						合計	2,878.63

(2) 社会教育系施設の状況と評価

図書館及び葉山しおさい博物館はいずれの施設も築後30年以上経過しており、老朽化が進行している状況です。図書館は、旧耐震基準で設計された施設ですが、耐震診断にて耐震性を確認したことから耐震性は「有り」となります。

全体としては経過年数による劣化が見受けられる状態でしたが、図書館は屋根及び空調設備に広範囲の劣化が見受けられるため、修繕・改修等の対応が必要となります。

表 3-2-2 社会教育系施設の評価

No.	施設名称	棟名称	建物評価項目			建物評価 (点数)	建物評価	FM会議等による 検討結果
			耐震性	老朽化状況 (経過年数)	劣化度			
1	図書館	図書館	有り※	54%	D	7	修繕等が必要	現状維持
2	葉山しおさい博物館	しおさい博物館	有り	46%	B	4	良好	現状維持
		しおさい博物館 増築棟	有り	31%		4	良好	現状維持

※図書館については、旧耐震基準ですが、コンクリート圧縮強度が基準値（13.5N/m²）を超え、耐震基準を満たしていることから、耐震性を「有り」にしています。

(3) 今後の方向性

表 3-3-2 社会教育系施設の方向性

No.	施設名称	今後の方向性	備考
1	図書館	「現状維持」	施設としては、当面は現状維持とし、必要な修繕を実施します。また、事業内容としては、学校図書室との連携強化を図ります。
2	葉山しおさい博物館	「現状維持」	当面は現状維持とし、必要な修繕を実施します。

3 集会施設

(1) 施設の概要

集会施設は全 12 施設あり、延床面積の合計は 2,803.68 m²となります。地域の余暇活動、文化活動、社会活動等の場を提供することで住民のコミュニティを醸成することに寄与しています。



(写真は下山口会館)

表 3-1-3 集会施設の基本情報

No.	施設名称	棟名称	構造	建築年度	経過年数	耐震基準	延床面積(m ²)
1	イトーピア会館	イトーピア会館	W	1978	45	旧	132.19
		イトーピア会館 増築棟	W	1990	33	新	59.06
2	一色岡会館	一色岡会館	W	1985	38	新	211.99
3	木の下会館	木の下会館	W	1988	35	新	197.49
4	真名瀬会館	真名瀬会館	RC	1990	33	新	250.96
5	一色第2岡会館	一色第2岡会館	W	1992	31	新	64.82
6	下山口会館	下山口会館	S	1997	26	新	237.71
7	元町会館	元町会館	S	1988	35	新	179.06
8	木古庭会館	木古庭会館	RC	1990	33	新	362.99
9	上山口会館	上山口会館	RC	1994	29	新	556.28
10	葉桜会館	葉桜会館	S	2000	23	新	221.44
11	一色町民いこいの家	一色町民いこいの家	W	1965	58	旧	132.82
12	堀内町民いこいの家	堀内町民いこいの家	W	1963	60	旧	196.87
						合計	2,803.68

(2) 集会施設の状況と評価

集会施設は築後30年以上経過している施設が多く、中でも一色・堀内の両町民いこいの家が築後60年程度経過しており、老朽化が顕著な状況です。いこいの家2施設とイトーピア会館の1棟が旧耐震基準で設計されていますが、いずれも耐震補強工事を実施しており耐震性は「有り」となります。劣化が進んでいる施設に関しては、安全確保の面から、修繕・改修等の対応が必要となります。

表 3-2-3 集会施設の評価

No.	施設名称	棟名称	建物評価項目			建物評価 (点数)	建物評価	FM会議による 検討結果
			耐震性	老朽化状況 (経過年数)	劣化度			
1	イトーピア会館	イトーピア会館	有り※1	75%	D	7	修繕等が必要	現状維持
		イトーピア会館 増築棟	有り	55%		7	修繕等が必要	現状維持
2	一色岡会館	一色岡会館	有り	63%	C	6	修繕等が必要	現状維持
3	木の下会館	木の下会館	有り	58%	C	6	修繕等が必要	現状維持
4	真名瀬会館	真名瀬会館	有り	41%	B	4	良好	現状維持
5	一色第2岡会館	一色第2岡会館	有り	52%	B	5	良好	現状維持
6	下山口会館	下山口会館	有り	33%	B	4	良好	現状維持
7	元町会館	元町会館	有り	44%	C	5	良好	現状維持
8	木古庭会館	木古庭会館	有り	41%	C	5	良好	現状維持
9	上山口会館	上山口会館	有り	36%	B	4	良好	現状維持
10	葉桜会館	葉桜会館	有り	29%	B	4	良好	現状維持
11	一色町民いこいの家	一色町民いこいの家	有り※2	97%	E	10	安全性に課題がある	現状維持
12	堀内町民いこいの家	堀内町民いこいの家	有り※3	100%	E	10	安全性に課題がある	現状維持

※1 イトーピア会館については、旧耐震基準ですが、耐震診断による判断により耐震基準を満たしていることから、耐震性を「有り」にしています。

※2 一色町民いこいの家については、旧耐震基準ですが、補強により耐震基準を満たしていることから、耐震性を「有り」にしています。

※3 堀内町民いこいの家については、旧耐震基準ですが、補強により耐震基準を満たしていることから、耐震性を「有り」にしています。

(3) 今後の方向性

表 3-3-3 集会施設の方向性

No.	施設名称	今後の方向性	備考
1	イトーピア会館	「現状維持」	<p>集会施設は、地域コミュニティを活性化するための貴重な場所であると考えています。しかし、指定管理を含めた管理運営体制においては、各町内会の負担等の課題があります。また、多くの施設が築30年以上となるため、今後の修繕や更新（建替）において多額の費用が発生することが見込まれます。</p> <p>方向性としては、基本的には現状維持としていますが、施設の利用ができなくなる程の老朽化が進んだ場合の方向性（建替、集約化、廃止等）を課題と捉え、これから町と町内会や利用者等により検討を進めたいと考えています。</p> <p>また、一色及び堀内のいこいの家については、寄贈による施設ではありますが、築60年程度で老朽化が進んでいることから、他の施設の状況を見ながら、随時方向性を検討します。</p>
2	一色岡会館		
3	木の下会館		
4	真名瀬会館		
5	一色第2岡会館		
6	下山口会館		
7	元町会館		
8	木古庭会館		
9	上山口会館		
10	葉桜会館		
11	一色町民いこいの家		
12	堀内町民いこいの家		

4 保健・福祉施設

(1) 施設の概要

保健・福祉施設は全2施設あり、延床面積の合計は4,239.24㎡となります。高齢者の方々の健康増進、生きがい創造の場、健診会場等の保健や福祉サービスを提供する場だけでなく、社会福祉協議会の拠点としての役割も果たしています。また、音楽、演劇、美術等の鑑賞の機会や町民の方々の自主的な文化活動・学習の場として芸術文化活動の振興に寄与し、町民福祉の増進と文化の向上に活用されています。



(写真は福祉文化会館)

表 3-1-4 保健・福祉施設の基本情報

No.	施設名称	棟名称	構造	建築年度	経過年数	耐震基準	延床面積(㎡)
1	福祉文化会館	福祉文化会館	RC	1988	35	新	3,023.50
		福祉文化会館 増築棟A棟	RC	1991	32	新	180.36
		福祉文化会館 増築棟B棟	RC	1991	32	新	418.01
2	保健センター	保健センター	RC	1987	36	新	617.37
						合計	4,239.24

(2) 保健・福祉施設の状況と評価

福祉文化会館及び保健センターは1980年代後半から1990年代前半に建築されており、32年～36年経過しています。いずれの施設も新耐震基準で設計されているため、耐震性は「有り」となり、老朽化状況についても50%を超える施設はありません。

劣化の状況においては、福祉文化会館の外壁及びホールの劣化が顕著なため、早急な修繕・改修が必要になります。

表 3-2-4 保健・福祉施設の評価

No.	施設名称	棟名称	建物評価項目			建物評価 (点数)	建物評価	FM会議等による 検討結果
			耐震性	老朽化状況 (経過年数)	劣化度			
1	福祉文化会館	福祉文化会館	有り	44%	D	6	修繕等が必要	福祉会館 「複合化及び長寿命化」 文化会館 「現状維持」
		福祉文化会館 増築棟A棟	有り	40%		6	修繕等が必要	
		福祉文化会館 増築棟B棟	有り	40%		6	修繕等が必要	
2	保健センター	保健センター	有り	45%	A	3	良好	移設

(3) 今後の方向性

表 3-3-4 保健・福祉施設の方向性

No.	施設名称	今後の方向性	備考
1	福祉文化会館	福祉会館 「複合化及び長寿命化」 文化会館 「現状維持」	「子育て支援センター機能」及び「保健センター機能」を福祉会館に複合化することで、役場庁舎と合わせて行政機能を集約化します。 ただし、複合化に伴い、一定の改修が必要になるため、財政状況を踏まえた計画的な改修を実施いたします。なお、文化会館に関しては、当面は現状維持としていますが、ホールの老朽化が著しいことから早急に必要な修繕・改修を実施します。
2	保健センター	「保健センター機能を福祉会館1階及び2階に移設」	葉山町役場庁舎周辺に行政機能を集約化し、利用者の利便性の向上を図るため、福祉会館の1階及び2階を移設先の候補とします。福祉会館1階及び2階に保健センター機能を移設する場合、調理室の新設等の一定の改修を行う必要があります。 なお、既存敷地については、売却することも視野に入れて検討を進めます。

5 子育て支援施設

(1) 施設の概要

子育て支援施設は全 9 施設あり、延床面積の合計は 3,365.94 m²となります。子ども達が利用できる地域の遊び場や育児に関する情報提供や相談等の場を提供するとともに、イベントの開催等も実施し、子育ての支援と地域コミュニティの形成を促進する重要な役割を果たしています。



(写真は子育て支援センター（ほけっと）)

表 3-1-5 子育て支援施設の基本情報

No.	施設名称	棟名称	構造	建築年度	経過年数	耐震基準	延床面積(m ²)
1	葉山保育園	葉山保育園 (教育総合センター1階)	RC	2006	17	新	842.78
2	下山口児童館	下山口児童館	S	1997	26	新	153.13
3	元町児童館	元町児童館	S	1988	35	新	364.60
4	木古庭児童館	木古庭児童館	RC	1990	33	新	371.35
5	上山口児童館	上山口児童館	RC	1994	29	新	426.55
6	葉桜児童館	葉桜児童館	S	2000	23	新	270.64
7	芝崎児童館	芝崎児童館	RC	1997	26	新	371.12
8	青少年会館	青少年会館	W	2012	11	新	183.01
9	子育て支援センター（ほけっと）	子育て支援センター（ほけっと）	RC	1972	51	旧	382.76
						合計	3,365.94

(2) 子育て支援施設の状況と評価

子育て支援施設のうち、多くの施設が1990年代から2010年代に建築しており、新耐震基準で設計されているため、耐震性は「有り」となります。子育て支援センター（ぼけっと）のみ旧耐震基準で設計されていますが、耐震補強を実施しているため、耐震性は同様に「有り」となります。

劣化の状況においては、子育て支援センター（ぼけっと）の多くの部位で広範囲に劣化していることが判明しており、対策が必要な状況です。その他の施設は大半の施設が建築後20年程度であることから、部分的に劣化している部分が見受けられるものの、良好な状態です。

表 3-2-5 子育て支援施設の評価

No.	施設名称	棟名称	建物評価項目			建物評価 (点数)	建物評価	FM会議等による 検討結果
			耐震性	老朽化状況 (経過年数)	劣化度			
1	葉山保育園	葉山保育園（教育総合センター1階）	有り	21%	B	4	良好	長寿命化
2	下山口児童館	下山口児童館	有り	33%	B	4	良好	現状維持
3	元町児童館	元町児童館	有り	44%	C	5	良好	現状維持
4	木古庭児童館	木古庭児童館	有り	41%	B	4	良好	現状維持
5	上山口児童館	上山口児童館	有り	36%	B	4	良好	現状維持
6	葉桜児童館	葉桜児童館	有り	29%	B	4	良好	現状維持
7	芝崎児童館	芝崎児童館	有り	33%	B	4	良好	現状維持
8	青少年会館	青少年会館	有り	18%	A	2	良好	現状維持
9	子育て支援センター（ぼけっと）	子育て支援センター（ぼけっと）	有り※	64%	E	8	修繕等が必要	移設

※子育て支援センター（ぼけっと）については、旧耐震基準ですが、補強により耐震基準を満たしていることから、耐震性を「有り」にしています。

(3) 今後の方向性

表 3-3-5 子育て支援施設の方向性

No.	施設名称	今後の方向性	備考
1	葉山保育園	「長寿命化」	施設としては、教育総合センターと複合施設であることから長寿命化を図ります。また、事業内容としては、今後の児童数の推移により、将来の保育園のあり方を検討します。
2	下山口児童館	「現状維持」	学校再整備に伴い、学童クラブを学校施設内で実施することにより、利用者の利便性の向上を図ります。実施にあたっては民間企業の参入も検討します。 また、施設としての方向性は全て現状維持としていますが、集会所と複合している施設も多くあることから、集会所と同様に施設の利用ができなくなる程の老朽化が進んだ場合の方向性（建替、集約化、廃止等）を課題として捉え、これから町と利用者等により検討を進めたいと考えています。
3	元町児童館		
4	木古庭児童館		
5	上山口児童館		
6	葉桜児童館		
7	芝崎児童館		
8	青少年会館		
9	子育て支援センター（ぼけっと）	「子育て支援センター機能を福祉会館3階に移設」	葉山町役場庁舎周辺に行政機能を集約化し、利用者の利便性の向上を図るため、福祉会館の3階を移設先の候補とします。福祉会館3階に子育て支援センターを移設する場合、レイアウト変更等の一定の改修を行う必要があります。 なお、既存敷地については、売却することも視野に入れて検討を進めます。

6 都市公園内施設

(1) 施設の概要

都市公園内施設は全2施設あり、延床面積の合計は315.82㎡となります。南郷上ノ山公園及び葉山しおさい公園は、それぞれ1万㎡を超える大規模な公園であり、都市公園として位置付けられています。どちらの都市公園も公園の適正な管理を目的として、管理事務所が設置されています。



(写真は南郷上ノ山公園管理事務所)

表 3-1-6 都市公園内施設の基本情報

No.	施設名称	棟名称	構造	建築年度	経過年数	耐震基準	延床面積(㎡)
1	南郷上ノ山公園管理事務所	南郷上ノ山公園管理事務所	RC	1984	39	新	270.27
2	葉山しおさい公園管理事務所	葉山しおさい公園管理事務所	W	1986	37	新	45.55
						合計	315.82

(2) 都市公園内施設の状況と評価

南郷上ノ山公園管理事務所及びしおさい公園管理事務所はいずれも 1980 年代半ばに建築しており、新耐震基準で設計されているため、耐震性は「有り」となります。

劣化の状況においては、いずれの施設も経過年数通りの部位の劣化が見受けられる状態のため、必要に応じて修繕・改修が必要となります。

表 3-2-6 都市公園内施設の評価

No.	施設名称	棟名称	建物評価項目			建物評価 (点数)	建物評価	FM会議等による 検討結果
			耐震性	老朽化状況 (経過年数)	劣化度			
1	南郷上ノ山公園管理事務所	南郷上ノ山公園管理事務所	有り	49%	B	4	良好	長寿命化
2	葉山しおさい公園管理事務所	葉山しおさい公園管理事務所	有り	62%	B	5	良好	現状維持

(3) 今後の方向性

表 3-3-6 都市公園内施設の方向性

No.	施設名称	今後の方向性	備考
1	南郷上ノ山公園管理事務所	「長寿命化」	誰でも利用しやすいインクルーシブ遊具の設置を行い、より魅力的な公園にするために、民間事業者の参入も含めた検討を行います。 また、計画的な公園整備の実施のため、令和7年度中に長寿命化計画を策定します。
2	葉山しおさい公園管理事務所	「現状維持」	当面は現状維持とし、必要な修繕を実施します。また、民間事業者算入の可能性について研究します。

7 その他施設

(1) 施設の概要

その他施設は全1施設あり、延床面積の合計は378.52㎡となります。旧葉山はばたきは、令和4年9月まで障害者支援施設として利用していた施設ですが、事業者の事業場所が移転したことにより、現在は利用されていない状態です。



(写真は旧葉山(はばたき))

表 3-1-7 その他施設の基本情報

No.	施設名称	棟名称	構造	建築年度	経過年数	耐震基準	延床面積(㎡)
1	旧葉山はばたき	旧葉山はばたき	S	1988	35	新	378.52
						合計	378.52

(2) その他施設の状況と評価

旧葉山はばたきは1980年代後半に建築された施設であるため、新耐震基準で設計されており、耐震性は「有り」となります。また、劣化診断においても早急に対応が必要な部位も無く、良好な状態です。

表 3-2-7 その他施設の評価

No.	施設名称	棟名称	建物評価項目			建物評価 (点数)	建物評価	FM会議等による 検討結果
			耐震性	老朽化状況 (経過年数)	劣化度			
1	旧葉山はばたき	旧葉山はばたき	有り	44%	B	4	良好	民間事業者に貸付

(3) 今後の方向性

表 3-3-7 その他施設の方向性

No.	施設名称	今後の方向性	備考
1	旧葉山はばたき	「民間事業者に貸付」	令和5年度から令和6年度にかけて町民との意見交換会を実施しました。様々な活用方法に関する意見がありましたが、多様な世代が気軽に立ち寄ることができる施設にして欲しいとの意見が多くありました。 その結果を受けて、地域住民を中心とした町民に対し、どのようなサービスを還元できるかといった項目を重要視したプロポーザルを行った上で、民間事業者に貸付を行うこととしました。

第4章 公共施設整備の基本的な方針と整備水準

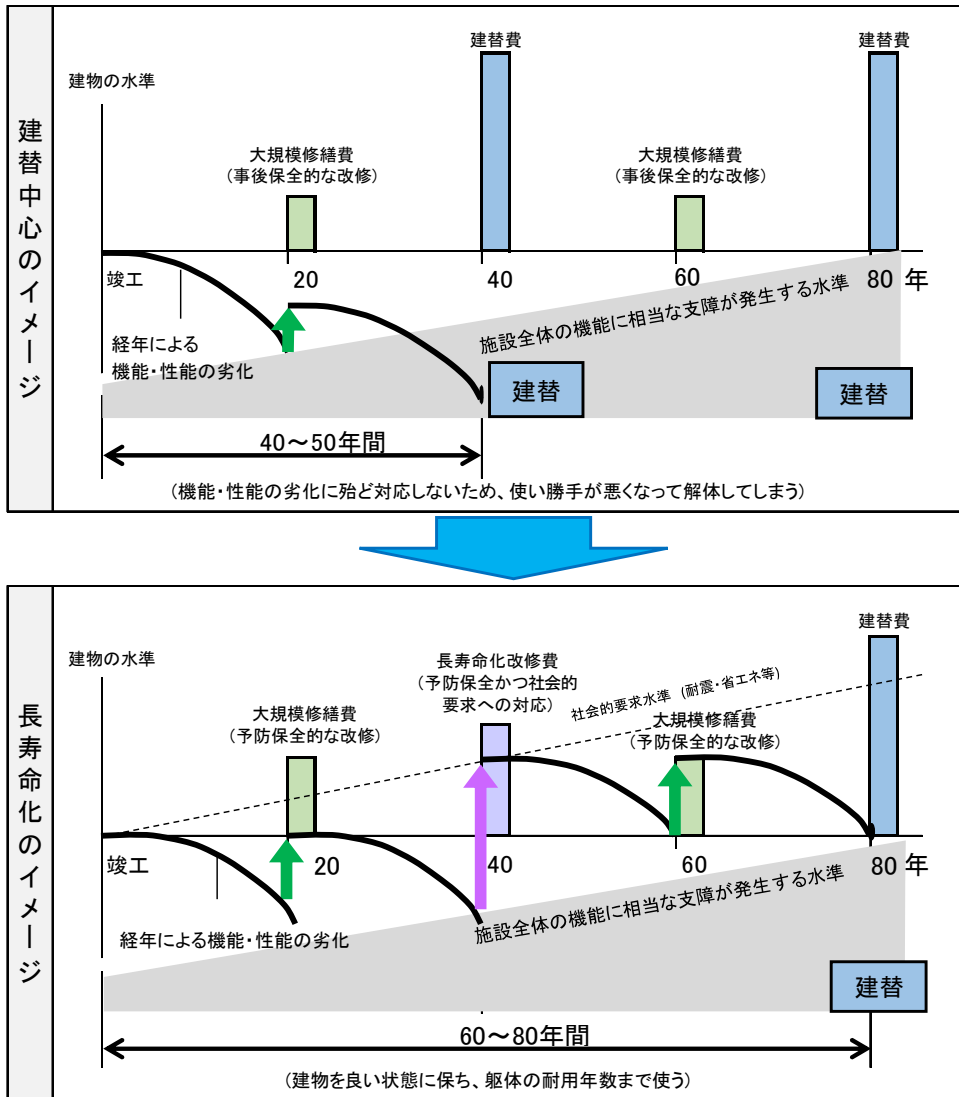
1 改修等の基本的な方針

財政状況や環境配慮の観点から、長寿命化の方向性とした施設に関しては、計画的な改修による長寿命化を図り、従来の施設整備から計画的な修繕・改修による施設整備に切り替え、財政負担の平準化を行っていきます。

2 改修周期のイメージ

施設の長寿命化を行うために、適切な周期での計画的修繕・改修が必要となります。次のイメージのように、定期的な修繕・改修を繰り返し、長寿命化を図ります。

【改修周期のイメージ】⁵



出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省 H29.3）

⁵ ここでいう改修周期は、主に鉄筋コンクリート造や鉄骨造の建築物のイメージを指す

3 改修等の整備水準

(1) 耐久性の向上

工事実施段階においては躯体の詳細調査を実施し、ひび割れ補修工法（被覆工法、注入工法、充てん工法）等によるひび割れ対策、表面処理工法等、中性抑制剤やアルカリ性付与剤の塗布等による中性化対策、断面修復工法（左官工法、吹付け工法）による鉄筋の腐食対策等、劣化状況に応じた適切な補修を実施します。

また、躯体や施設内部への漏水は耐久性への影響が大きいため、外壁や屋上には防水性および耐久性の高い材料を使用することを検討します。

(2) 機能性の向上

多くの人が使用する公共施設であるため、バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れた機能的な内装や設備を検討します。また、用途やレイアウトの変更への対応のしやすさも考慮します。

(3) 環境性の向上

断熱性の高い材料の使用や再生エネルギーを導入し、環境に配慮した省エネルギー化を図ります。

表 4-1 改修時の整備水準例

部位	対応	具体例
躯体	躯体の状況に応じた補修 (ひび割れ対策、中性化対策)	・補修材の注入 ・表面処理工法 ・断面修復工法 等
屋根・屋上	防水性および耐久性の高い材料の導入	・ガルバリウム鋼板屋根 ・屋上断熱アスファルト防水改修 等
外部	耐久性および断熱性の高い材料の導入	・フッ素塗料等 ・複層ガラス ・断熱材 等
内部	レイアウト変更可能な内装の導入	・可動式間仕切り
電気設備	省エネ効果の高い電気設備の導入、 再生可能エネルギーの導入	・電灯のLED化 ・太陽光エネルギー発電 等
機械設備	バリアフリー/ユニバーサルデザイン型 の設備導入、省エネ効果の高い電気設 備の導入	・トイレの洋式化 ・エレベーター設置 ・ICT対応 等

第6章 個別施設計画の継続的運用

1 維持管理の項目・手法等

長寿命化を図るため、修繕等の工事だけでなく、日常的・定期的な点検を実施により、施設を維持管理します。

また、劣化状況等を把握し、効率的な修繕・更新を検討のうえ、計画に反映していきます。

表 6-1 点検の種類

分類		点検者	点検時期	点検方法
自主点検	日常点検	現場職員、施設所管課員	月2回程度 2週間に1回	目視、聴診、触診、 施設点検チェックシート
	周期点検	現場職員、施設所管課員、 公共施設課員	年2回 ・4月～5月 ・9月～10月	目視、聴診、触診、 施設点検チェックシート
	緊急点検	施設所管課員、公共施設課員	災害発生時 警報等発令時	目視
法定点検※		専門技術者（有資格者）	法令規則による	専門業者委託により点検

※法定点検実施が義務付けられている施設のみ実施

自主点検においては、令和2年度に作成しました「施設点検マニュアル」に基づき点検を行います。

 **葉山町**

施設点検マニュアル

□ 植栽、樹木が強風などで倒れたり、折れそうな枝はありませんか
機器や構造物が倒壊したり、落下・損傷はしていませんか

● 視点
台風や強風の際、枝が折れて落下する危険性がないか、隣接する道路や敷地に倒れたり、覆いかぶさっていないか、サイン看板が倒れていないか、損傷していないか点検します。

● 対応
転倒や落下する危険な箇所が見つかった場合は、カーブーンなどで近寄れないようにしてください。



3. 点検の留意点
- 施設の安全管理に必要な点検項目のうち、多くの施設に共通する点検項目を例示したものです。各施設の状況に応じて、個別に必要な点検項目は適宜チェックシートに追加してください。
 - 隠蔽部分、屋根の上等の高所で点検を実施するのに危険な箇所の点検は省略します。但し、階段空があり歩行可能な屋根、屋上、バルコニー、ベランダについては点検してください。
 - 点検にあたっては、くれぐれも無理をせず、安全確保を徹底してください。
 - 危険箇所が発見された場合は、緊急措置として立入禁止とってください。
 - 前回改め実施するよ

記入例


施設名	葉山町立図書館	不具合箇所	①
所管課・担当者	子ども育成課	電話（内線）	〇〇〇

▼不具合箇所の報告 報告日/ 令和 元 年 11 月 20 日 (水)

発 見 日
令和 元 年 11 月 15 日 (金) 不具合箇所 / バルコニー軒先下り壁

不具合内容
全体的に亀裂が生じていて、危険性がある。
壁の両端と壁下端に剥けが露出している。

不具合箇所の写真



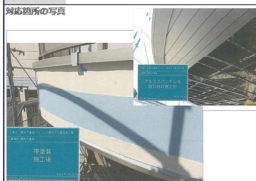
過去に類似の不具合が生じたことがあるか
あり (年 月日)
なし 不明
備考
該当箇所がメイン玄関ホールの軒下ということもあり、トラロープにて通行止めとした。

▼対応の記録 対応日/ 令和 2 年 3 月 27 日 (金)

対応の方法
平置を伴った修繕等 (修繕費 ¥2,431,330円、PL、修繕業者名 株式会社)
施設管理者による改善 応急処置 その他 ()

対応の内容
バルコニーをすべて撤去の上、新設とする。

対応箇所の写真



過去に類似の対応を行ったことがあるか
あり (年 月日)
なし 不明
備考
緊急対応のため、予算外にて修繕を執行した。

2 情報基盤の整備と活用

本計画を推進するにあたり、固定資産台帳等の基礎的資料に加え、定期点検の結果、改修履歴、委託料や光熱水費等を把握し、蓄積、更新することが必要です。本計画の見直しや効果的な運用等を見据え、情報を一元管理し、施設の効果的な維持管理に活用していきます。

3 推進体制等の整備

本計画を着実に推進していくため、維持管理や点検を行う施設所管課、公共施設マネジメントを行う公共施設課が連携を図ります。また、公共施設課にて本計画の推進状況を随時把握し、必要に応じて総合管理計画の見直しを実施します。

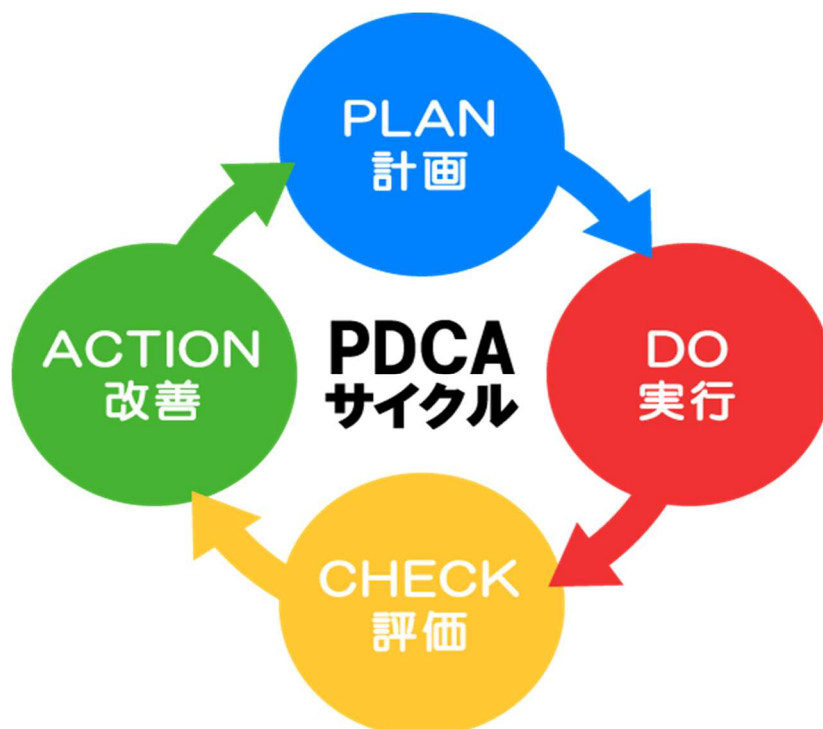


4 フォローアップ

施設の劣化状況や厳しい財源状況、人口減少による需要の変化に対応するため、PDCAサイクルを確立し、進捗を確認しながら必要に応じて適宜本計画の見直しを行います。

また、本計画で示した実施見通しを目安として、実施年度や個別の事業費等を精査しつつ、財源とのバランスを見ながら施設の改修等工事を実施していきます。


【PDCAサイクルのイメージ】





●お問い合わせ先

葉山町政策財政部公共施設課

 046-876-1111（代表）

ホームページでは本計画の上位計画である「葉山町公共施設等総合管理計画」を公表しています。

葉山町 総合管理計画

検索

